



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2023年4月28日

株式会社 おきぎん経済研究所

## おきぎん県内景況・速報（2023年3月分）

◎ 県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもと、着実に回復しつつある。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

新車販売台数は前年同月を上回る。

中古車販売台数は前年同月を上回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルの

すべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿

泊収入(推計値)も上回る。

☆ 企業倒産：件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2023年3月分)

◎2023年3月 おきぎん「カトリア」景況図



◎ 概況：県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもと、着実に回復しつつある。

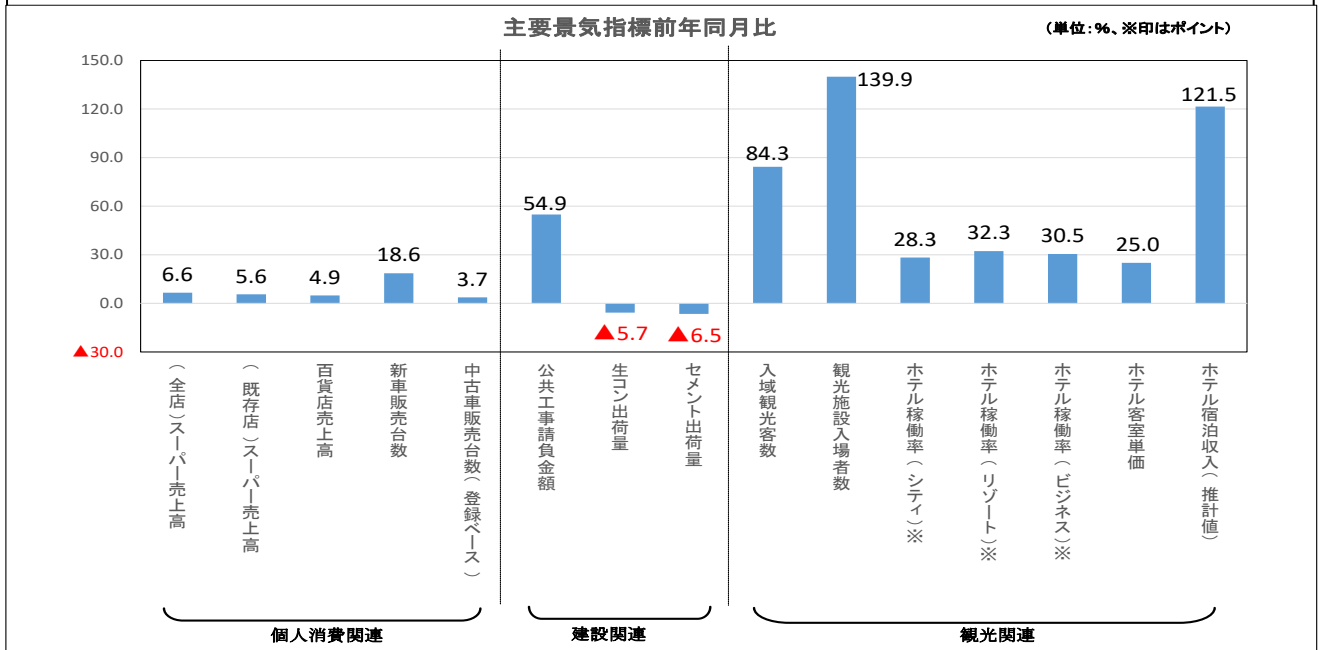
3月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数、中古車販売台数共に前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)においても前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも緩やかに回復しています。観光関連は、全国旅行支援の実施や外国人観光客の増加などから着実に回復しつつあります。建設関連は、民間工事に持ち直しの動きがみられます。よって、「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもと、着実に回復しつつある」と景気判断を上方修正しました。

(上方修正)



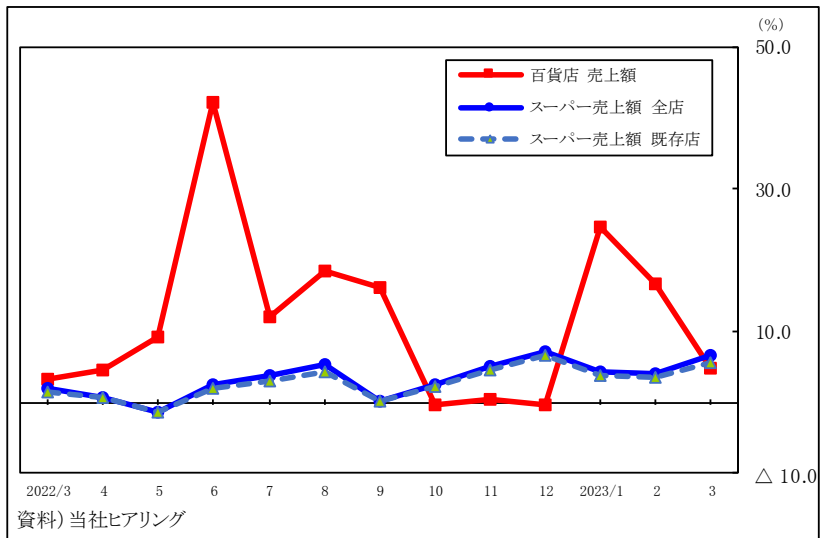


■個人消費： (やや良い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2022/3	1.9	1.5	3.3
4	0.6	0.6	4.6
5	△ 1.5	△ 1.3	9.2
6	2.6	2.1	42.1
7	3.9	2.9	12.0
8	5.3	4.2	18.4
9	0.2	0.1	16.3
10	2.6	2.2	△ 0.3
11	5.0	4.6	0.4
12	7.2	6.5	△ 0.3
2023/1	4.4	3.9	24.8
2	4.1	3.5	16.7
3	6.6	5.6	4.9



注) 前年同月比

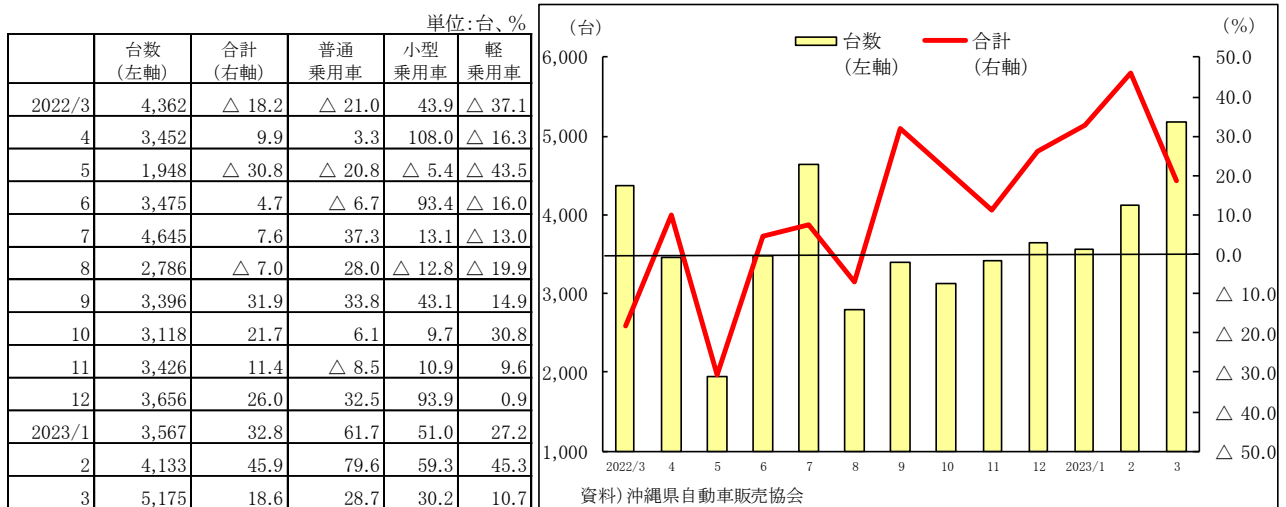
3月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 6.6%増)」は、10ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 6.8%増)」、「家庭用品(同 4.5%増)」は来客数の増加や物価高による単価の上昇などにより、前年同月を上回りました。「衣料品(同 9.0%増)」は式典用、新生活用の商品が伸長し前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 5.6%増)」は、10ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 5.9%増)」、「家庭用品(同 1.9%増)」は来客数の増加や物価上昇の影響などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 8.1%増)」は式典用、新生活用の商品(スーツ、かりゆしウェア等)が販売好調だったことなどにより前年同月を上回りました。

(参考値)コロナ禍以前の2019年同月比では、7.6%増となりました。

百貨店売上高は、集客や免税実績の大幅増などにより前年同月を上回りました(同 4.9%増)。品目別では、「衣料品(同 3.3%増)」はフォーマル衣料、カジュアル衣料共に売り上げが伸長したことなどにより前年同月を上回りました。「食料品(同 11.1%増)」はホワイトデー関連商品の販売好調や営業時間の拡大、催事企画の好調などにより前年同月を上回りました。「雑貨(同 7.0%増)」は、来客数の増加や営業時間の拡大などにより前年同月を上回りました。全体としては3ヵ月連続で前年同月を上回りました。

## ② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を上回る。



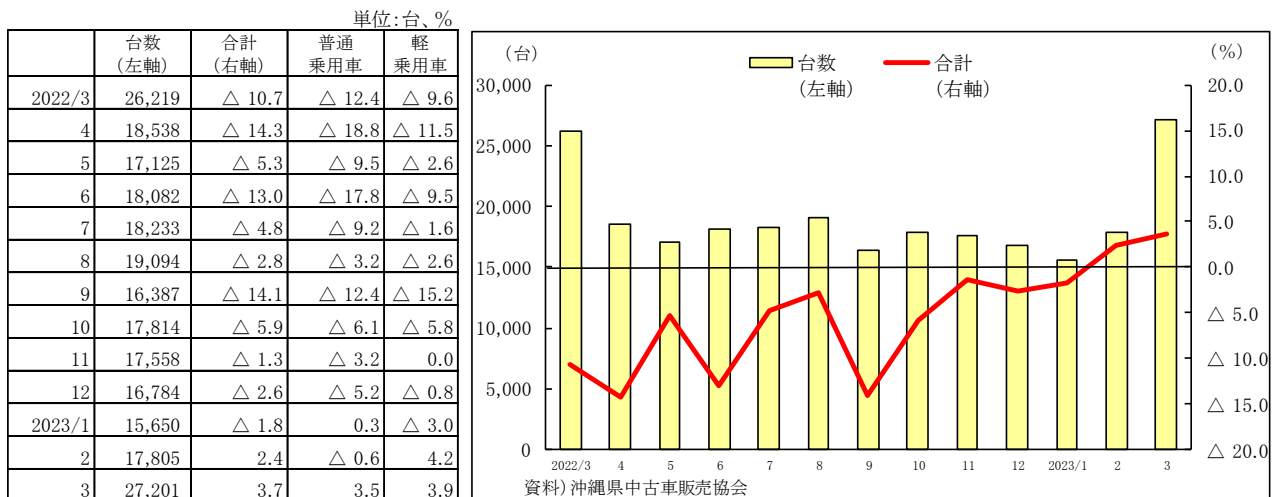
注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で5,175台(同18.6%増)となり、7ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車(同28.7%増)」、「小型乗用車(同30.2%増)」、「軽乗用車(同10.7%増)」は供給制限の影響が改善しつつあることやレンタカー需要の増加などにより前年同月を上回りました。

(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比では、全体で17.2%減となりました。車種別では、普通乗用車5.1%増、小型乗用車15.7%減、軽乗用車23.5%減となっています。

## ③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。



注) 前年同月比

注) 登録ベース

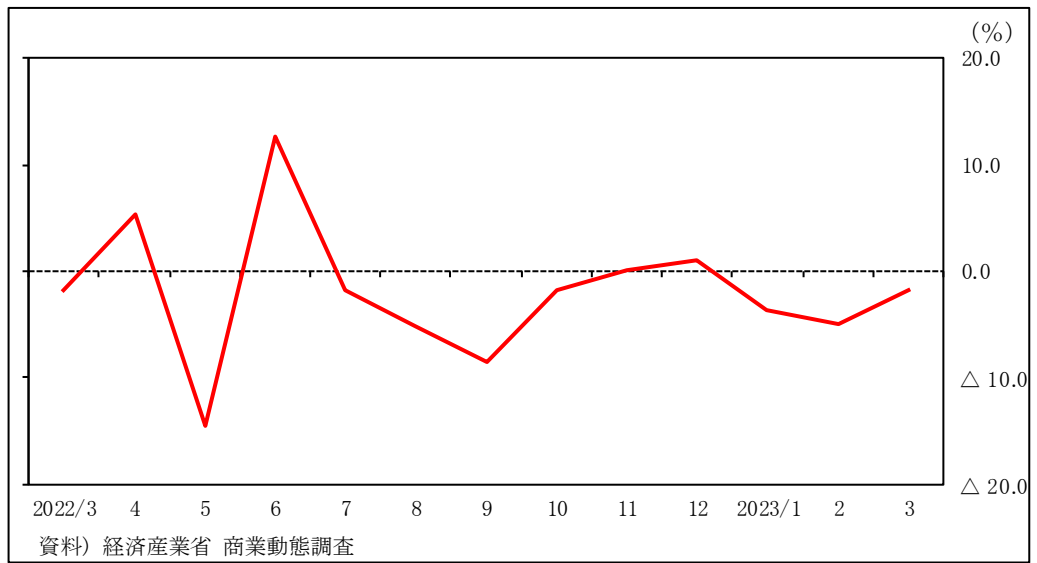
**中古車販売台数(登録ベース)**は、全体で27,201台(同3.7%増)となり、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車(同3.5%増)」、「軽自動車(同3.9%増)」は中古車価格相場の落ち着きなどにより前年同月を上回りました。

(参考値) コロナ禍以前の2019年同月比は全体で1.5%増となり、車種別では乗用車1.3%増、軽自動車1.6%増となりました。

④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を下回る。

単位:%

	販売額
2022/3	△ 1.7
4	5.4
5	△ 14.5
6	12.6
7	△ 1.7
8	△ 5.2
9	△ 8.5
10	△ 1.8
11	0.0
12	1.0
2023/1	△ 3.6
2	△ 5.0
3	△ 1.7



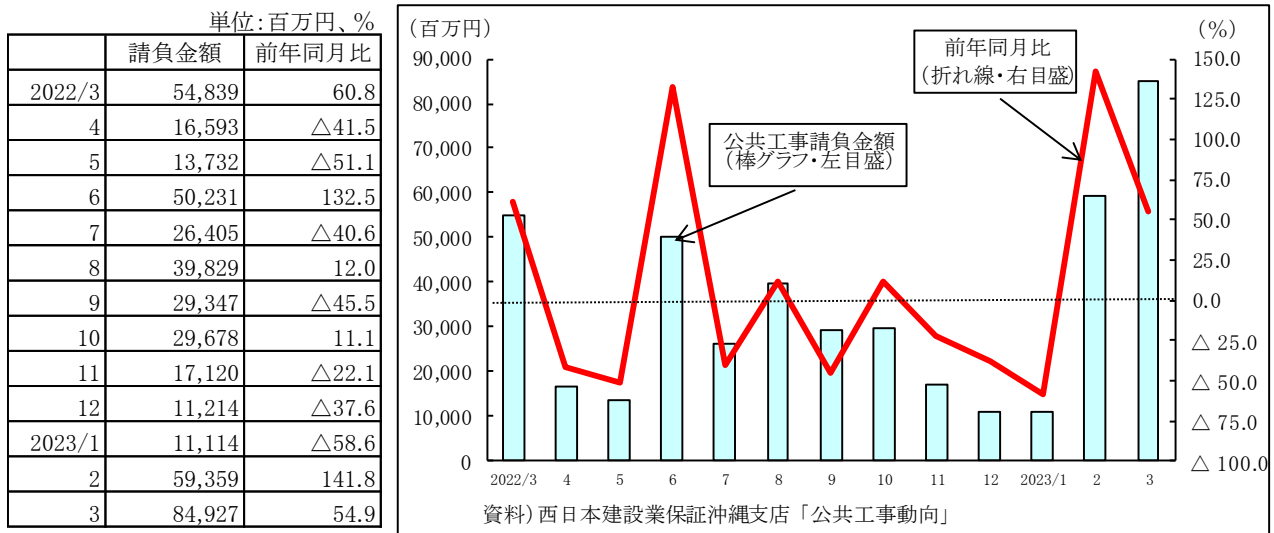
注) 前年同月比

3月の大型家電専門店販売額は前年同月を下回りました。

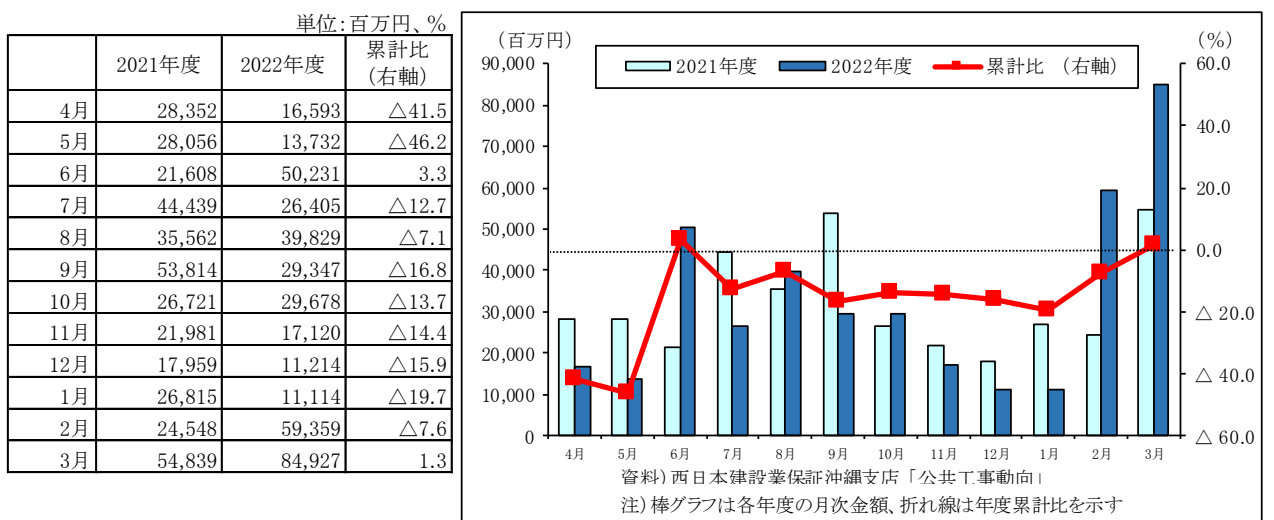


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



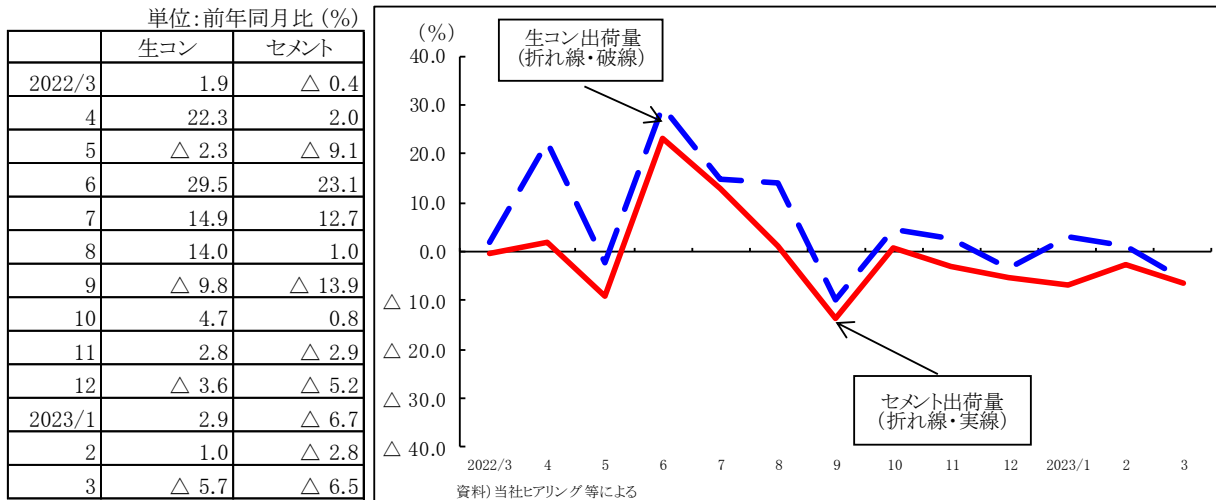
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



3月の公共工事請負金額は、前年同月比 54.9%増の 849 億 2,700 万円となりました(2ヵ月連続増)。

発注者別でみると、「国(50.8%増)」、「独立行政法人等(同 146.5 倍)」、「市町村(同 151.0%増)」は前年同月を上回りました。一方、「その他(同 88.5%減)」、「沖縄県(同 32.1%減)」は前年同月を下回りました。

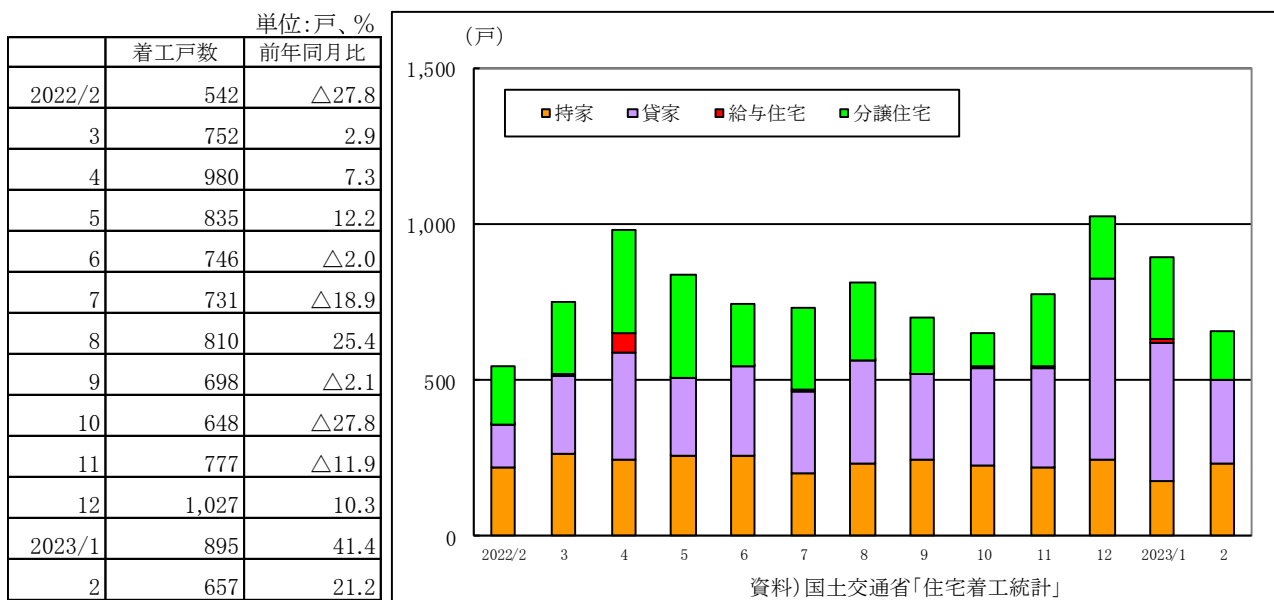
②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を下回る。



(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

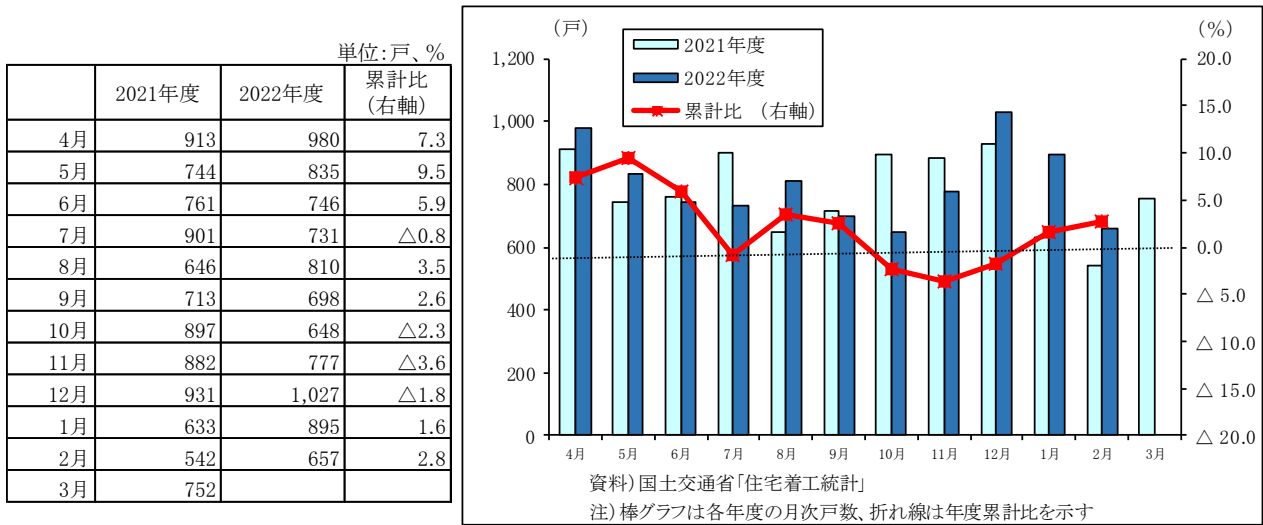
建設資材関連では、生コンの出荷量は 5.7%減と3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは石垣、北部、宮古圏内での出荷が減少したことなどから前年同月を 19.2% 下回り、民間工事向けは石垣、北部での出荷が増加したことなどから前年同月を 2.6% 上回りました。セメント出荷量は 6.5%減と5ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③【参考】住宅投資（2月）・・・着工戸数は前年同月を上回る。



2月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比 21.2%増の 657 戸となり、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「貸家(同 97.1%増)」、「持家(同 5.5%増)」は前年同月を上回りました。一方、「給与住宅(同 100.0%減)」、「分譲住宅(同 15.3%減)」は前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を上回る。



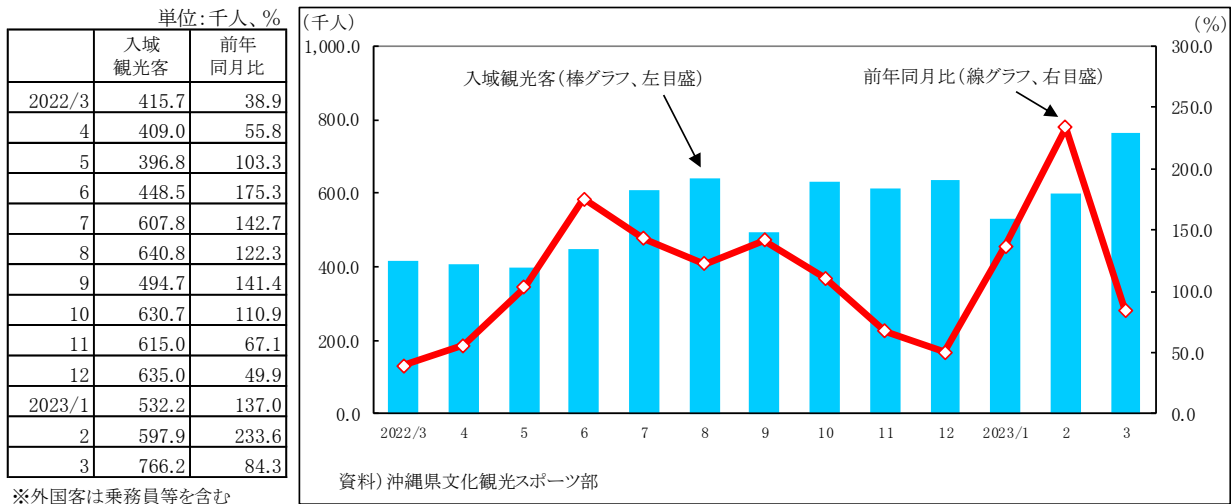
今年度累計値では、2.8%増となっています。





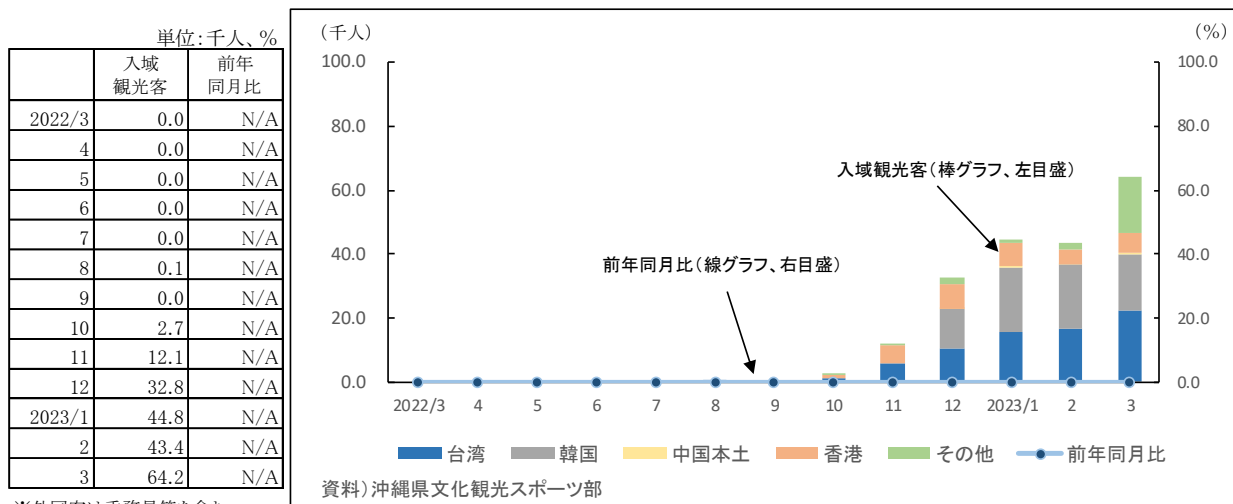
■観光関連： (ふつう)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）・・・前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

外国客入域観光客数・・・64,200人となる。



※外国客は乗務員等を含む

3月の入域観光客数は、コロナウイルスの影響が和らぐもと、全国旅行支援や、春休みの旅行需要を見込んだ航空会社の増便があったことなどから、350,500人多い766,200人(前年同月比84.3%増)となり、16ヵ月連続で前年同月を上回りました。

2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、117,800人減少(13.3%減)と下回っています。

2019年同月比(国内客)では、44,600人増加(6.8%増)となっています。

外国客入域観光客数は、台湾や韓国路線の増便や、クルーズ船の寄港などにより、64,200人となりました(台湾22,400人、韓国17,400人、中国本土400人、香港6,700人、その他17,300人)。今後も各路線の運航再開・増便やクルーズ船の寄港などにより、外国客数の緩やかな回復が見込まれています。

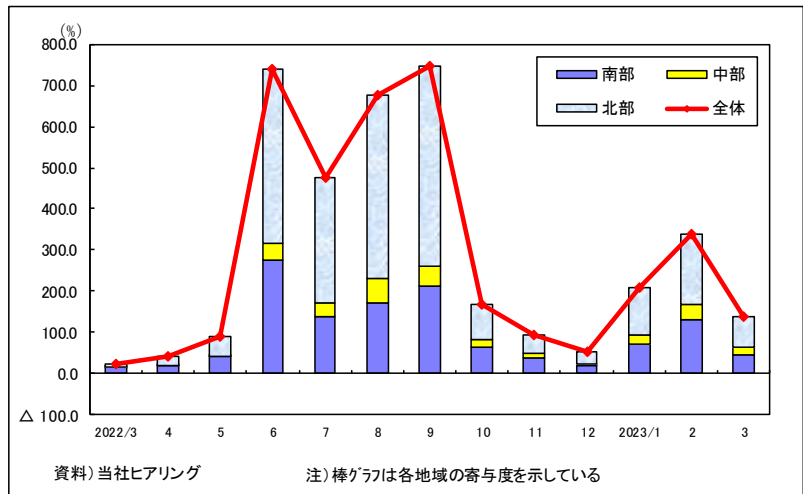
## ②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2022/3	24.9	60.7	11.3	13.1
4	43.0	61.6	12.2	38.9
5	90.1	153.6	16.8	77.5
6	738.2	1,132.3	472.1	629.3
7	475.9	460.8	479.3	482.7
8	675.0	373.7	519.5	1,039.8
9	747.4	510.6	559.3	978.8
10	168.8	237.0	179.0	137.6
11	92.2	108.9	70.5	85.1
12	54.3	59.0	19.6	61.9
2023/1	207.3	220.8	164.5	210.3
2	331.7	606.5	290.6	260.6
3	139.9	139.5	180.1	132.3

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



3月の**観光施設入場者数**は、観光需要の高まりや全国旅行支援の実施などから、全体では139.9%増となり13ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、北部の観光施設は132.3%増、南部は139.5%増、中部は180.1%増となりました。

(参考)2019年同月比では、団体客の減少や2次交通の不足などから、全体で31.2%の減少となりました。

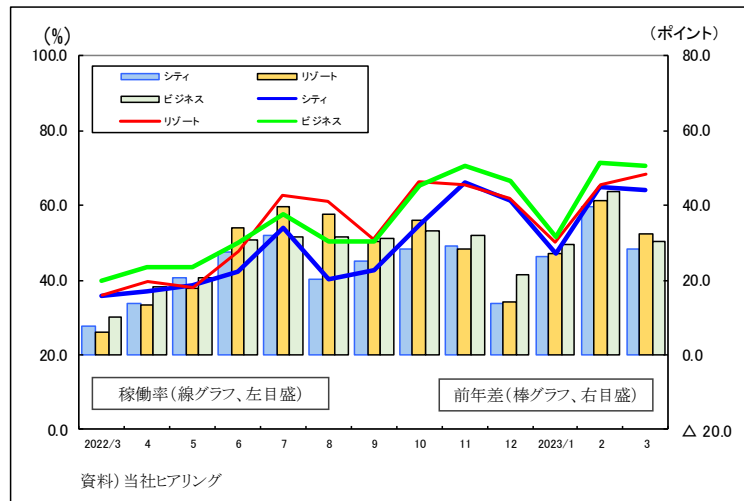
内訳では北部の観光施設は21.9%減少、南部は46.0%の減少、中部は15.8%の減少となっています。南部は、一部施設の入場者数減(2019年比)により、減少率が高くなっています。

### ③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2022/3	35.6	36.1	40.0	7.8	5.9	10.2
4	36.8	39.8	43.5	13.8	13.4	18.0
5	38.6	37.9	43.3	20.7	17.6	20.6
6	42.1	47.5	49.9	27.6	33.9	30.6
7	53.9	62.5	57.5	31.8	39.5	31.6
8	40.2	61.1	50.3	20.4	37.6	31.6
9	42.7	51.1	50.2	25.1	30.3	31.0
10	54.9	66.2	65.3	28.1	36.0	33.1
11	66.0	65.6	70.7	28.9	28.3	32.0
12	61.2	61.8	66.4	13.8	14.3	21.3
2023/1	47.0	50.1	51.6	26.2	26.9	29.6
2	64.9	65.3	71.4	39.8	41.3	43.5
3	63.9	68.4	70.5	28.3	32.3	30.5

注)シティ7ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



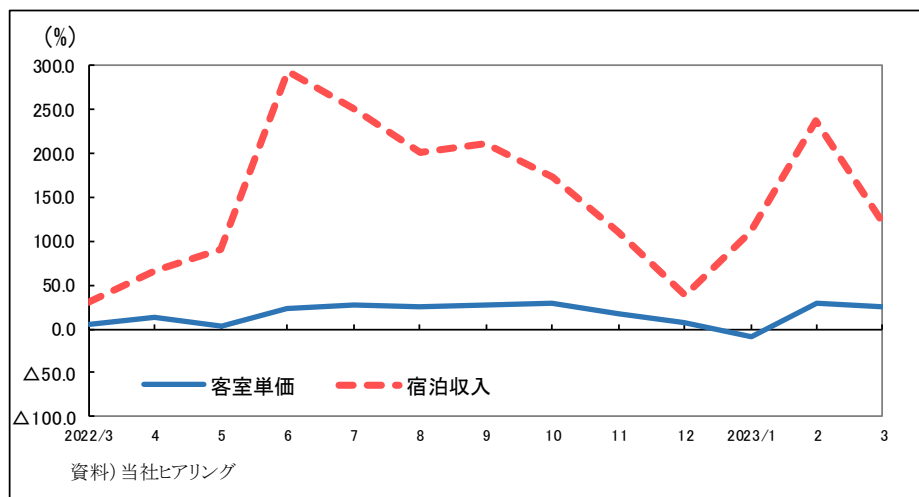
**県内ホテル稼働率**は、シティホテルは前年同月比28.3ポイント増加、リゾートホテルは32.3ポイント増加、ビジネスホテルは30.5ポイント増加しました。全国旅行支援の実施に伴う個人・団体客の増加や外国人観光客の増加などから、前年同月を上回りました。

(参考)2019年同月比では、シティホテルは16.9ポイントの減少、リゾートホテルは9.0ポイントの減少、ビジネスホテルは9.4ポイントの減少となっています。

### ④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2022/3	4.5	29.4
4	14.1	66.2
5	3.4	91.2
6	24.1	293.8
7	27.7	251.1
8	24.7	201.3
9	26.5	211.9
10	30.1	173.2
11	16.4	110.8
12	7.4	37.7
2023/1	△9.9	110.5
2	30.2	237.9
3	25.0	121.5



※対象施設数:25施設(シティ7、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は25施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は25.0%増と2ヵ月連続で前年同月を上回り、**宿泊収入**においては121.5%増と16ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考)2019年同月比では、客室単価は10.8%の増加、客室収入は0.1%の減少となっています。

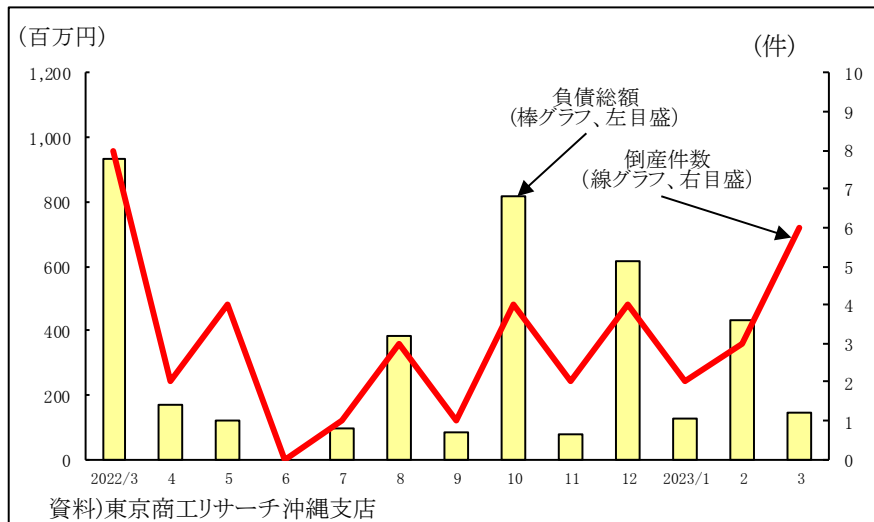


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2022/3	935	8
4	170	2
5	120	4
6	0	0
7	94	1
8	381	3
9	83	1
10	816	4
11	75	2
12	617	4
2023/1	128	2
2	430	3
3	145	6



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

3月の企業倒産件数は6件となり、前年同月より 25.0% 下回りました。

負債総額は1億 4,500 万円となり、前年同月より 84.5% 下回りました。

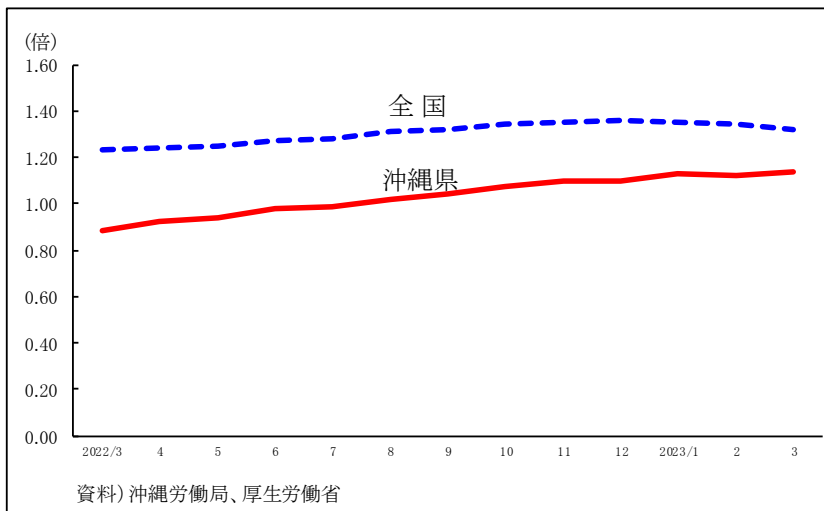


■雇用関連： (やや良い)

①有効求人倍率・・・沖縄は前月より上昇、全国は低下。

単位:倍

	沖縄県	全国
2022/3	0.88	1.23
4	0.92	1.24
5	0.94	1.25
6	0.98	1.27
7	0.99	1.28
8	1.02	1.31
9	1.04	1.32
10	1.07	1.34
11	1.10	1.35
12	1.10	1.36
2023/1	1.13	1.35
2	1.12	1.34
3	1.14	1.32



注) 季節調整済

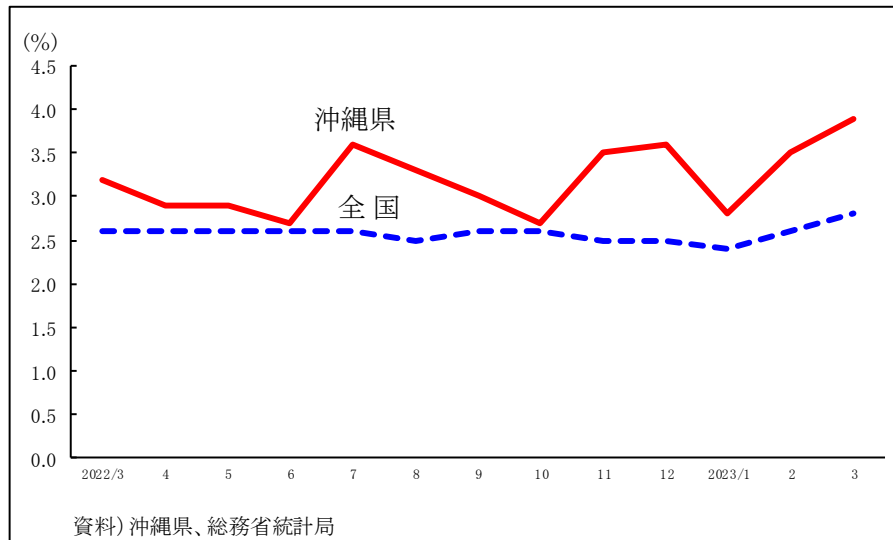
注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

3月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比 2.0%減の 32,729 人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比 3.1%減の 28,820 人となり、有効求人倍率(季節調整値)は 1.14 倍と、前月より 0.02 ポイント上昇となりました。

②完全失業率・・・沖縄、全国はともに前月より上昇。

単位:%

	沖縄県	全 国
2022/3	3.2	2.6
4	2.9	2.6
5	2.9	2.6
6	2.7	2.6
7	3.6	2.6
8	3.3	2.5
9	3.0	2.6
10	2.7	2.6
11	3.5	2.5
12	3.6	2.5
2023/1	2.8	2.4
2	3.5	2.6
3	3.9	2.8



注) 季節調整済

3月の完全失業率(季節調整値) は、3.9%となり前月より0.4ポイント上昇しました。